

～欣浄寺法語メール～2018年4月～

「鉄人と哲人」

先日逝去された広島カープ衣笠祥雄選手は、京都平安高校の出身でした。本山西本願寺のすぐ真西にある本願寺宗門立の学校です。かつて衣笠選手が母校を訪れ、「プロ野球選手になってなかなか上手にならないバッティングに悩んでいたとき、コーチの一言が目覚ましてくれました」と語りました。それは「バッティングフォーム」だったそうです。あたりまえにできていると思い込んでいたバッティングの基本である最初の「かまえ」が違っていただけだそうです。観客を魅了したフルスイングは最初の正しいかまえがあったからだったのです。

仏さまにお参りするとき、時々このエピソード

ードを思い出します。合掌も最初の姿勢が大切です。「合掌は、両手を胸の前に合わせて、指をそろえて約四十五度上方にのばし、念珠をかけて親指で軽くおさえます。そのまま肩・ひじをはらず自然に背筋を伸ばし、ご本尊を仰ぎ『南無阿弥陀仏』とお念仏をとこなえます。」

・ ・ （本願寺勤式指導所ホームページより）」。影のコーチが時々私をみて「ちゃんとできていますか？」と声をかけてくれます。

骨折しても試合に出続け連続試合出場世界記録を打ち立てた衣笠選手、引退後野球解説者としての語り口は野球への情熱と選手への思いやりにあふれていました。デッドボールを受けたとき、いつもピッチャーをきづかったように・ ・ ・。「鉄人」は人としての「哲

人（すぐれた思想を持つ人）」でもありました。

・ ・ ・ 欣浄寺行事のご案内 ・ ・ ・

親鸞聖人御旧跡を訪ねる旅 6月10日(日)

本山本願寺 ご往生の地・角坊 大谷本廟 京都観光など